

只木ゼミ後期第7問反対尋問レジュメ

文責：3班

I.反対尋問

- 5 1. 弁護側は、誤振込がなされた時点でその金銭に対する占有が移転したと考えているということ間違いはないか。そうだとすると、現実に誤振込に関して銀行による組戻し等の手続きが存在する以上、そのために合理的な期間を保障すべきであり、妥当ではないのではないか。

以上